



図1



図2



図3



図4

ったさまざまなカテゴリーに対して、そのそれぞれに求められるアンチドーピングの知識を説明しています。

「マンガで読む！「アンチドーピングガイドブック」」(図4)では、ハンマー投げの室伏選手やアーチェリーの山本選手なども実際に登場するマンガでの学習になっており、非常に読みやすく、かつ大切な内容が述べられています。

「やってみよう！ Real Winner」Eラーニング(図5)は、「世

界ドーピング防止規程」に基づいて作成されたネット学習プログラムです。このアスリートサイトに含まれるコンテンツを、ひと通り読んだあとに挑戦してみましょ。

このEラーニングは終了時に修了証が作成されます。ある競技団体の場合は、この修了証の提出が大会参加の義務として用いられているほどです。全部で1時間ほどかかりますが、ぜひ挑戦してみてください。

次は、「アスリートに必要な手続き」(図6)です。このページは少し専門的な知識の紹介です。検査対象者登録リスト・アスリート(RTPA)とって日本におけるトップアスリートが指名されるものです。このRTPAに指名された場合には、つねにドーピング検査における競技会外検査の対象となり、今自分がどこにいるかという居場所情報を必ず提出しなければなりません。

これに関連した「居場所情報」についての情報提供もされています。そのほかにも、実際の検査における尿検査、血液検査の方法について、また万が一違反が生じた際の手続きの進め方についても、ていねいに解説されています。

また、もう一点、「治療目的の使用にかける除外措置(以下、TUE)」についても解説されています。これは、禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによってTUEが認められれば、

未来を担うハンドボーラーのための

「ドーピング」ってなんだろう？



「ドーピング」という言葉を聞いたことはあるだろうか。スポーツで好成績をあげるために禁止されている薬物などを使うことだ。「自分には関係ないよ」と読者のみなさんは思うかもしれないが、じつはそうでもないんだ。この連載をとおして、一度「ドーピング」について学んでみよう。

貝沼 圭吾

かいぬま・けいご、1979年生まれ。東海高(愛知)でハンドボールに出会い、大学時代からは審判にも携わる。現在は国立病院機構三重病院で小児科医として、運動誘発ぜん息などの研究診療に従事。同時に現役レフェリー、三重県審判長としても活動し、日本協会では審判部、アンチドーピング特別委員会委員、医事委員としてハンドボールと深く関わる毎日を送っている。

質問、疑問をお寄せください！

当連載に関係する質問や疑問があれば、遠慮なくお寄せください。特別委員会のみなさんも、ハンドボーラーがアンチドーピングのどんな点を知りたいのか、とても興味を持っています。お名前(ペンネームも可)、年齢(学年)、質問事項をご記入の上、144ページ下欄の宛先より「『ドーピング』ってなんだろう?」係までメール、ハガキ、FAXでお送りください。

Vol.8

JADAのHPを見よう

今回は、日本アンチドーピング機構(以下、JADA)のウェブサイト(図1)について説明したいと思います。

JADAは日本におけるアンチドーピング活動の中心となる機関です。そのウェブサイトでは、アンチドーピングに関する非常に有益なさまざまな情報が提供されて

アスリートサイト

まず、「アスリートサイト」です(図2)。

アスリートサイトは、アスリートのみなさんに向けて作られたサイトですが、コーチや医師などのサポートスタッフにも大変有用なページです。

アスリートサイトを開いてみましょう。まず「スタート! アンチドーピング」にカーソルを置いてください(図3)。ここからは、3分でわかる! アンチ・

います。

日本ハンドボール協会はJADAと共同でアンチドーピング活動も取り組んでおり、日本協会のHPからこのウェブサイトへ移動することができます(<http://www.handball.jp/doping/doping.html> ページ右上のJADAROCから)。

中でも、とくにみなさんにぜひ一度見ていただきたい部分を今回は説明したいと思います。

ドーピングとは?。世界を目指せ! アンチドーピング知識! カテゴリー別。やってみよう! Real Winner—Eラーニング。マンガで読む! 「アンチドーピングガイドブック」。アンチドーピングを通して考える—スポーツのフェアとは?。ゲームで楽しむ! PLAY THE CHALLENGE。こんなことが! ケーススタディ。と分けられています。

3分でわかる! アンチドーピングとは?。およびアンチドーピングを通して考える—スポーツのフェアとは?。では、アンチドーピングについてわかりやすく書かれています。さらにアンチドーピングを通じて、スポーツの価値を守るといふスポーツ精神についても書かれており、ぜひ選手・指導者のみなさんに読んでいただきたい内容になっています。

「世界を目指せ! アンチドーピング知識」カテゴリー別では、日本代表選手向け、ジュニア・ユース選手向け、サポートスタッフ(指導者・医師など)とい

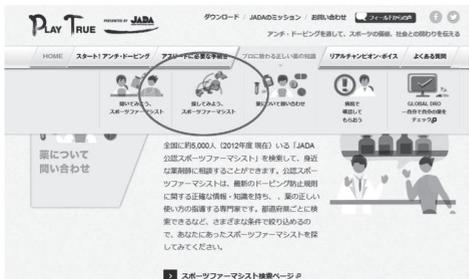


図8

トがいるというような偶然もあるかもしれませんが、さっそく探してみしましょう。

少しJADAのサイトからは脱線しますが、次にスポーツドクターについても紹介したいと思えます。公認スポーツファーマシストはJADAによって認定されますので、JADAのサイトから検索できますが、公認スポーツドクターは日本体育協会の講習を受け、認定されます。

そのため、検索するにも日本体



図9

育協会のウェブページの中にある「スポーツドクター検索」というところから探す必要があります。このスポーツドクターも、都道府県別、スポーツ種目別、診療科目別で検索をすることができます。スポーツドクターには毎年、ドーピングに関する資料が送付され、一般の医師に比べれば、スポーツへの理解知識が高いと思われるので、薬が必要な状態の時には、相談してください。

さて、JADAのサイトに戻り



図10

またしよう。

スポーツファーマシスト検索のとなりにある『薬について問い合わせ』をクリックしてください(図10)。

すると、スポーツファーマシスト検索の下に『薬剤師会ドーピング防止ホットライン』があります。ここには、日本薬剤師会の協力のもと、薬に関する相談窓口の連絡先がまとめられています。受付時間があること、FAXでの問い合わせが原則であることから、

**アンチドーピング
ホットライン**

電話番号
090-9304-5420

メールアドレス
handball@japan-sports.or.jp

緊急性のある場合には、少し利用しにくいことはありますが、日常使用しているお薬に関してなどは充分に対応してもらえますので、ぜひご利用ください。

以前より載せている日本協会アンチドーピングホットラインもぜひ活用してください。

さて、今月はJADAのウェブサイトを詳しく解説してきました。このJADAのアンチドーピングへの取り組みは国際的にも評価が高く、東京五輪招致の一助にもなっています。ハンドボールに一生懸命取り組むみなさんにとっても、「へえ、そうなんだ」と思える内容がいっぱい詰まっていますので、ぜひ一度見てくださ

例外的に使用することができるようにするものです。

このTUEが認められるためには、治療上使用しないと健康に重大な障害を及ぼすことが予想される。他に代えられる合理的な治療法がない。治療上使用した結果、健康を取り戻す以上に競技力を向上させる効果を生まない。ドーピングの結果生じた副作用の治療ではない。という条件を満たすことが必要です。

これらを証明するためには、担

調不安が生じた際に活用していた

さて、次に実際にみなさんに体験

**スポーツファーマシストと
スポーツドクター**



図5



図6



図7

当となる医師に証明を書いてもらう必要があるのですが、実際にこのサイトを見せて、書いてもらうようにするためにぜひ知っておいてもらいたい項目と思われれます。

このTUE申請書類もウェブサイトに上からダウンロードできますので、ぜひご利用ください(図7)。

だきたいベ
ージを紹介
します。

まずはア
スリートサ
イトの『プ
ロに教わる
正しい知
識』の中
にある『ス
ポーツファ
ーマシスト
』について
です(図8)。

このスポーツファーマシスト検
索サイトを見てみましょう。

開いてみると、図9のような日
本地図が出てきます。みなさんの
住んでいる地方だけでなく、住所
からも自分の近くにいるスポーツ
ファーマシストを検索することが
できます。もしかししたら、みな
さんが毎日通学しているその途中
に、じつはスポーツファーマシス